

公益財団法人 和歌山県文化財センター平成24年度事業報告

1 埋蔵文化財発掘調査受託

契約件数 14件

決算額 234,655,738 円

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
1	一般国道26号第二阪和国道 平井 Ⅱ遺跡発掘調査業務	和歌山市	国土交通省 (近畿地方整備局)	平成24年5月21日 平成24年10月29日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.5.22～H.24.10.31		22,307,000円	△2,166,000円	20,141,000円
事業等の概要 平井Ⅱ遺跡は、国道建設に伴う工事で土器が発見されたことにより新規に埋蔵文化財包蔵地として認定された遺跡である。調査地は、市道粉河加太線大谷交差点の北西に位置し、調査面積は1,059㎡である。調査の結果、古墳時代と中世の遺構を検出した。古墳時代の堅穴遺構からは、初期須恵器が多量に出土している。中世の遺構には、土坑・ピット・溝がある。瓦器碗が完形で出土するピットが2基あり、地鎮に関連した遺構と考えられる。古墳時代の出土遺物には、土師器や初期須恵器のほか、埴輪片がある。その他、中世の土師器・瓦器・陶磁器や宋銭、近世の陶磁器や瓦、煙管や銭貨(寛永通寶)・石臼などが出土している。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
2	一般国道24号京奈和自動車道 根来寺遺跡((第2次)発掘調査業務	岩出市	国土交通省 (近畿地方整備局)	平成24年9月4日 平成25年3月14日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.9.5～H.25.3.15		29,252,000円	△5,770,000円	23,482,000円
事業等の概要 調査地は、根来寺遺跡内の西北端に近い洞尾川左岸の地区(3区)と南側の丘陵中腹部の地区(4・5区)、合計2,345㎡である。このうち3区では、近世のものとして水田区画に伴う石垣、中世のものとしては、石組み溝や水田区画の石垣を検出した。石組みの溝は水田耕作に伴う暗渠排水溝である。4区及び5区は古道の可能性の考えられる丘陵中腹部の平坦面に設定した調査区であるが、一部側石とも考えられる石列を検出したものの、明らかに路面と思われるような遺構の確認には至らなかった。出土遺物は、水田という生産域であることから極めて少ない状況であったが、近世の陶磁器片のほか中世に帰属する土師器皿、備前焼すり鉢、中国製の天目茶碗、白磁皿などがある。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
3	近畿自動車道紀勢線事業に伴う田ノ口遺跡発掘調査業務	白浜町	国土交通省 (近畿地方整備局)	平成24年4月10日 平成24年12月17日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.4.11～H.24.12.25		37,099,000円	△2,288,000円	34,811,000円
事業等の概要 調査地を1～3区の調査区に分け、1区を山裾の平野、2区を山裾に近い山腹の平坦地、3区を丘陵の斜面に設定した。調査面積は合計4,117㎡である。1区では南北に延長する溝状遺構を検出し、ここから権状石製品が出土した。また土坑のひとつからは土師器、灰釉陶器、黒色土器等の遺物が多量に出土した。2区では近世以降と考えられる遺構がほとんどであったが、中世の土坑1基と、包含層中に弥生土器を確認している。3区は現代において開墾や植林がなされたためかなりの部分において削平が認められたものの、畑地として利用されていた平坦部分の縁辺部から古代の遺構(土坑)を数基検出しており、なかには焚き火痕跡が確認されたものがあつた。さらに別の土坑からは、小片ではあるが二彩の可能性のある施釉陶器片が出土した。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
4	近畿自動車道紀勢線事業に伴う大古Ⅱ遺跡発掘調査業務	白浜町	国土交通省 (近畿地方整備局)	平成24年4月10日
				平成24年12月17日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.4.11～H.24.12.25		28,710,000円	△986,000円	27,724,000円
事業等の概要 調査地は、日置川の下流域右岸に形成された自然堤防上に位置している。平成23年度の調査に引き続き、西から3、6、7、8区の4区に分けて調査を実施した。調査面積は1,151㎡である。調査の結果、3、6、7区の遺構面は3面と判断される。3区の第1遺構面では溝や柵状遺構を検出し、溝からは少量の須恵器片が出土している。第2遺構面では溝3条が帰属すると考えられる。第3遺構面では掘立柱建物と推測される柱列を検出した。6区の第2遺構面では階段状遺構が帰属すると考えられる。7区の第1遺構面では溝状遺構などを検出し、古代の土師器皿などが出土している。第2遺構面では竪穴遺構のほか、多量の弥生土器が出土した土坑2基などを検出した。8区では遺構が検出されず、日置川の氾濫原であったと考えられる。調査地周辺は、7区が位置する微高地を中心に集落が展開しているものと考えられる。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
5	平成24年度大和紀伊平野農業水利事業(二期)紀伊平野区域(田屋遺跡)に係る埋蔵文化財の発掘調査	和歌山市	近畿農政局 和歌山県(教育委員会)	平成24年9月11日
				平成25年3月14日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.9.11～H.25.3.29		6,976,000円	-	6,976,000円
事業等の概要 調査は、六箇井用水路改修事業に伴い実施した。調査面積は333㎡である。遺構検出面は2面で、主に平安時代後半から鎌倉時代を中心とする遺構を検出した。第1遺構面では、溝や柱列のほか多数の土坑、ピットを検出した。遺物は土師器の皿、瓦器の椀や小皿が出土している。第2遺構面では、溝や井戸状遺構などを検出した。遺物は土師器の皿、瓦器の椀や小皿が出土している。調査区の中央南側では、南北方向に流れる自然流路を検出し、弥生時代後期の遺物が出土している。弥生土器が出土した遺構は自然流路のみであり、遺構が遺存しているなら、調査地の北側を中心に当該期の遺構が展開していると推測される。発掘調査終了後、出土遺物等の整理作業を行い、報告書を発行した。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
6	都市計画道路西脇山口線(園部・六十谷)道路改良事業に伴う六十谷遺跡第2次発掘調査業務	和歌山市	和歌山県 (海草振興局)	平成24年1月25日
				平成24年7月20日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.1.26～H.24.6.7		12,549,000円	888,000円	13,437,000円
H.24.1.26～H.24.7.31				
事業等の概要 調査は、都市計画西脇山口線(園部・六十谷)道路改良工事に伴い平成23年度に引き続き行った。調査面積は408㎡で、調査地は1区・2区・3区に別れる。1区では、中世の堀と考えられる遺構を検出した。幅約11mで底幅約3mである。南北方向に掘削されている。また3区は、1区の南側に位置し、1区で検出した堀状遺構が続く。堀状遺構の南端部分については、現在の粉河加太線により削平されている。出土遺物は、中世の土器を主とし、銭貨(熙寧元寶)、弥生土器、石包丁などが見られる。2区では、古墳時代と考えられる竪穴建物や、掘立柱建物と考えられる柱穴列を検出した。その他多数の土坑・ピットを検出した。出土遺物は弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器などがある。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
7	近畿自動車道松原那智勝浦線すさみ西インターチェンジ(仮称)事業に伴う立野遺跡発掘調査業務	すさみ町	和歌山県 (東牟婁振興局)	平成24年10月15日 平成25年3月8日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.10.16～H.25.3.15		31,345,000円	△2,238,000円	29,107,000円
事業等の概要				
<p>調査地を6箇所の調査区に分け、町道を境にして1、6区を道路東側に、2、3、4、5区を道路西側に設定した。調査面積は合計1,249㎡である。1区では古代の水田とそれに伴う畦畔を検出しており、2区では現代の水田耕作による攪乱が地山まで達していた。3、4、5、6区を設定した箇所は弥生時代前期から古代にかけての自然流路にかかり、時代により多少流れを変えてはいるが、各調査区において弥生時代前期、弥生時代中期～後期、古墳時代、古代の遺物が出土している。弥生時代前期の自然流路は、前回の調査においても検出されており、その流路から延長するものと考えられるが、木製品や伐採木の出土は前回に比べはるかに少なく、前回の調査地が貯木場的機能を有する場所であったとの見方を裏付ける。</p>				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
8	史跡根来寺境内及び名勝根来寺庭園発掘調査業務	岩出市	宗教法人真義真言 宗総本山根来寺	平成24年7月27日 平成24年11月16日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.7.28～H.24.10.31		3,356,000円	306,000円	3,662,000円
H.24.7.28～H.24.11.20				
事業等の概要				
<p>調査は、防災施設設置事業に伴うもので、大塔などが所在する伽藍域を中心に1.2m×2.0m幅のグリッドを34箇所設定し調査にあたった。このうち4グリッドでは、南面する高さ70cmほどの石垣を検出した。石の積みは2ないし4段で、整地土との関係から中世に遡るものである可能性が高い。また、17グリッドにおいては、鑄造に関係すると思われる土坑及び遺構面の一部が焼けて赤く変色していることを確認した。この土坑の上層部から溶解炉の破片と思われるものが出土している。この遺構についても、中世、16世紀中頃の可能性が高い。出土遺物は全体に少ないが、中世(16世紀代)の土師器皿や国産陶器(常滑焼甕)のほか、前述の溶解炉の破片が10点以上出土している。</p>				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
9	一般国道26号第二阪和国道 平井Ⅱ遺跡(第2次)発掘調査業務	和歌山市	国土交通省 (近畿地方整備局)	平成24年12月10日 平成25年3月14日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.12.11～H.25.3.15		7,537,000円	△165,000円	7,372,000円
事業等の概要				
<p>平井Ⅱ遺跡で、第1次調査に引続き、面積670㎡を対象に第2次発掘調査を実施した。調査地は、北側の水田と南側の宅地に2分され、水田部の遺構面は2面である。調査の結果、古墳時代と中世の遺構を検出した。古墳時代の遺構には土坑とピットがある。土坑からは初期須恵器が多数出土している。中世の遺構には、土坑・ピット・溝がある。溝はいずれも素掘りで、水田耕作に伴うものと考えられる。古墳時代の土師器や初期須恵器のほか、第1次調査と同様に埴輪片が出土する。中世の遺物には、土師器・瓦器・須恵器・陶磁器がある。弥生時代の石包丁とサヌカイトの剥片も各1点出土している。</p>				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
10	近畿自動車道紀勢線事業に伴う岩崎大泓遺跡・岩崎大泓Ⅱ遺跡発掘調査業務	上富田町	国土交通省 (近畿地方整備局)	平成24年9月6日 平成25年3月14日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.9.7～H25.3.25		35,656,000円	△2,884,000円	32,772,000円
事業等の概要 調査地は上富田町岩崎字大泓である。調査原因は近畿自動車道紀勢線建設に伴う調査である。遺跡としては岩崎大泓遺跡と岩崎大泓Ⅱ遺跡の2遺跡の調査を行った。調査の便宜上、岩崎大泓遺跡をⅠ区(1,315㎡)、岩崎大泓Ⅱ遺跡をⅡ区(978㎡)と呼称して調査を実施した。Ⅰ区で検出した遺構には、平安時代末から鎌倉時代初頭の用水路と考えられる溝状遺構4条と、水田と思われる2枚の方形区画を検出した。他に、方形区画に沿って畦状の高まりを検出している。Ⅱ区では、溝状遺構に囲まれた中世(室町時代後期)の屋敷地を検出した。Ⅰ・Ⅱ区双方ともに、中世の遺構検出面の下層は、遺跡名の「泓」が示すように湿地状の堆積層となり、弥生時代終末期の土器を含む。調査地の周辺には、この時期の集落の存在が推測される。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
11	都市計画道路西脇山口線(園部・六十谷)道路改良事業に伴う六十谷遺跡第3次発掘調査業務	和歌山市	和歌山県 (海草振興局)	平成24年6月7日 平成24年10月1日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.6.8～H.24.9.18		6,470,000円	△1,547,000円	4,923,000円
H.24.6.8～H.24.10.12				
事業等の概要 調査は、平成23年度の第1次及び平成24年度の第2次調査に引き続き行った。調査面積は104㎡である。調査区内は、大部分が住宅・排水などにより著しく削平されているものの、土坑・ピットを検出した。土坑からは弥生時代中期と考えられる土師器高杯が出土している。また調査区の南側は、第1次調査の際に検出した丘陵裾上端部分と推測される落ち込みを検出した。落ち込みからは、第1次の調査時と同様に瓦器などの中世の遺物が主である。出土遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器、瓦などが出土している。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
12	秋月海南線道路改良工事に伴う和田遺跡発掘調査業務	和歌山市	和歌山県 (海草振興局)	平成24年8月1日 平成25年3月8日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.8.1～H.25.2.12		29,468,000円	△1,945,000円	27,523,000円
H.24.8.1～H.25.3.15				
事業等の概要 調査は、秋月海南線道路改良工事に伴い実施した。調査面積は1,557㎡で、遺構検出は2面で行った。検出した遺構は弥生時代・古墳時代・古代～中世である。弥生時代では、直径1.8mの素彫りの井戸と考えられる遺構や、土坑などを検出した。古墳時代では、土坑、落ち込み、溝状遺構を検出した。落ち込みは調査区西側から南側にかけて広がっており、弥生時代中期から古墳時代にかけて埋没したものと考えられる。古代～中世の遺構では、木枠の井戸を検出し、埋土の上層には約30cm大の砂岩・片岩があり、それらを除去すると土師器の皿に約15cm大の白色の砂岩を納めた状態で出土した。出土遺物は、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、金属製品、石製品などがある。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
13	秋月海南線道路改良工事に伴う和田遺跡第2次発掘調査業務	和歌山市	和歌山県 (海草振興局)	平成25年3月11日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.25.3.11~H.25.9.10		44,665,000円	-	297,738円
事業等の概要 調査地は和歌山市和田に位置し、昨年度の調査地(1次調査)の南側延長部分である。本年度の調査面積は4,518㎡を予定している。調査は緒に就いたばかりで機械掘削の後、人力掘削を行い、現在は遺構の検出作業を行っている段階である。昨年度は弥生時代の素掘り井戸や、弥生時代の落込み遺構、古墳時代の溝状遺構などを検出している。井戸からは弥生時代前期の土器が、落込み遺構からは弥生土器、溝状遺構からは古墳時代中期の須恵器や製塩土器、石製品では有孔円盤、滑石製白玉が出土している。調査地の北東側から東にかけて微高地が広がることを確認しており、本年度は居住域のエリアに当たる可能性も高く、住居跡等の遺構の検出も期待できる。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
14	南部高校クライミングウォール新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査等業務	みなべ町	和歌山県 (教育委員会)	平成24年11月6日 平成25年3月11日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.11.7~H.25.3.20		3,055,000円	△627,000円	2,428,000円
事業等の概要 調査は、2015年度に開催される紀の国わかやま国体で使用するクライミングウォール新築工事に伴い面積126㎡を対象に実施した。遺構では土坑が検出され、遺物では遺構出土以外のものを含め突帯文土器・弥生土器・土師器・近世陶磁器などが出土した。土坑は規模が0.5~1mと小規模なもので、弥生土器や土師器の破片が出土しているものの、埋土から中世以降に帰属する可能性がある。ただ、出土した弥生土器・突帯文土器については、原位置を離れているものの、既往の調査事例からも土壙墓の供献土器であった可能性が高い。本年度に報告書作成に伴う整理業務を実施し、報告書を刊行した。				

2 埋蔵文化財遺物整理等受託

契約件数 5件

決算額 87,167,000円

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
1	近畿自動車道紀勢線事業に伴う立野遺跡出土遺物等整理業務	すさみ町	国土交通省 (近畿地方整備局)	平成24年6月4日 平成25年3月14日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.6.5~H.25.3.25		25,990,000円	△1,056,000円	24,934,000円
事業等の概要 平成22年度に実施した立野遺跡の発掘調査で出土した土器類コンテナ60箱、石器類コンテナ44箱(約2500点)、木器・木製品約400点、金属製品3点ほか木材サンプルを対象に出土遺物整理業務をおこない、報告書を刊行した。また、重要度が高く、処理の緊急性を要する鉄斧1点と木製品184点の保存処理を高級アルコール含浸法で実施している。弥生時代前期の流路から出土する土器・石器・木製品の内容は、縄文時代から弥生時代に移行する過渡期を示すものであるとともに、和歌山県南部の地域性を顕すものでもある。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
2	都市計画道路湊神前線道路改良工事に伴う井辺遺跡出土遺物等整理業務	和歌山市	和歌山県 (海草振興局)	平成24年7月23日 平成25年3月20日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.7.23～H.24.10.31		3,440,000円	△1,045,000円	2,395,000円
H.24.7.23～H.25.3.25				
事業等の概要				
<p>平成23年度に発掘調査を行った井辺遺跡から出土したコンテナ12箱分の遺物等の整理を行った。調査では、弥生時代終末期から古墳時代の堅穴建物や掘立柱建物など多くの遺構が検出されている。出土遺物の整理作業では、数量の集計、注記、接合を行った。次に、報告書に掲載すべき遺物について補強・復元作業の後、実測、トレースを行い報告書に掲載した。遺構図面の整理作業では、報告書用図面の作成、トレースを行った。出土遺物は弥生時代終末期から古墳時代前期の遺物が大半を占めており、青銅製の鏃も出土している。また、青磁など中世の遺物も少量出土している。井辺遺跡ではこれまでの調査を踏まえ広い範囲での集落構造の復元が試みられており、より正確な集落構造を考える上で重要な資料といえる。</p>				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
3	都市計画道路松島本渡線(神前南)道路改良工事に伴う井辺遺跡及び神前遺跡第1次出土遺物等整理業務	和歌山市	和歌山県 (海草振興局)	平成24年5月1日 平成25年3月20日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.5.1～H.25.3.31		38,471,000円	△4,214,000円	34,257,000円
事業等の概要				
<p>平成22年度・23年度の2ヶ年の発掘調査(4,590㎡)の遺物整理事業である。当事業はコンテナ499箱の土器類及び石器と木製品385点、金属製品6点を対象に行っている。土器類に関しては洗浄、注記、接合、補強・復元、土器(器種)分類、破片点数の台帳登録、実測作業などを行った。木製品については実測作業を行った後、専門機関に保存処理作業・樹種同定を委託した。現地調査で撮影した記録写真はアルバムに収納し、登録番号、撮影内容の記載を行った。遺構図面については登録番号を付し、報告書掲載図面を抽出し、一部トレース作業を行った。</p>				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
4	和歌山橋本線道路改良工事に伴う神前遺跡第1次出土遺物等整理業務	和歌山市	和歌山県 (海草振興局)	平成24年4月23日 平成25年3月8日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.4.23～H.25.3.21		23,152,000円	△528,000円	22,624,000円
事業等の概要				
<p>平成21・22・23年度に実施した和歌山橋本線道路改良工事に伴う神前遺跡発掘調査業務で出土した遺物及び現地調査記録等の整理作業を実施した。事業は2箇年に分かれ、本年度は第1次出土遺物等整理業務として、基礎的な作業を実施した。弥生土器・土師器・陶磁器を中心とする339箱の土器の整理作業を中心に、若干数の石器・金属製品・木製品の整理及び遺構トレースのほか、青銅製鈴の保存処理委託を行った。多数の溝から弥生土器・土師器が出土しており、和歌山平野における灌漑水路の成立とその後の展開を知る上で重要な資料である。</p>				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
5	御坊由良線(和田Ⅱ遺跡)出土遺物等整理業務	美浜町	和歌山県 (日高振興局)	平成24年12月14日 平成25年3月11日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.12.17～H.25.3.16		3,014,000円	△57,000円	2,957,000円
H.24.12.17～H.25.3.20				
事業等の概要 平成23年度の発掘調査によって出土した遺物等の整理作業を行った。遺跡は和歌山県の中央を流れる日高川の河口域に形成された海岸砂丘上に立地している。面積609㎡を対象とした調査では、主に古代末から中世の土坑、ピット、流路を検出している。整理作業は、遺物の数量集計、登録、注記、接合・補強作業を行った。その中から報告書掲載遺物を抽出し、復元、実測、トレース作業を行った。遺構図面の整理作業は、報告書掲載用の図面の作成、トレース作業を行った。遺物の出土状況には時期的な傾向がみられ、標高の高い南半では古代の遺物が多く、土師器の椀・皿、須恵器の杯・壺、緑釉陶器椀、黒色土器の椀、灰釉陶器の椀などが出土し、標高の低い北半では中世の土師器の皿・製塩土器・羽釜、青磁の椀などが出土している。また特徴的なものとして、古墳時代のハソウや古代銭貨の「貞観永寶」も出土している。				

3 埋蔵文化財確認調査監理受託

契約件数 2件

決算額 64,305,096 円

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
1	平成24年度湯川中学校改築工事に伴う小松原Ⅱ遺跡確認調査監理業務	御坊市	御坊市	平成24年6月7日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.6.7～H.24.9.10		1,227,000円	-	1,227,000円
事業等の概要 中学校が改築されるのに伴い、屋内運動場・校舎建設予定地に計15箇所のトレンチとグリッドを設定し、調査をおこなった。総面積は302㎡である。調査の結果、削平はかなり受けているものの、弥生時代中期の土坑や柱穴、古代と考えられる土坑、中世の区画溝・土坑、近世の土坑などを検出した。また、南側には湯川氏館の庭園を構成する池が存在し、東端には館の東堀の存在が予想できる。対象地が全国屈指の規模をもつ方形居館の南東部に相当すると判断でき、全面に埋蔵文化財が展開していると判断できたことから、記録保存を目的とした本発掘調査が、平成25年度に行われることになっている。				

番号	事業等の名称	遺跡の所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日 (変更契約年月日)
2	平成24年度和歌の浦史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業に伴う三断橋修理事業監理及び調査業務委託	和歌山市	和歌山県 (教育委員会)	平成24年6月20日 平成25年3月8日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H.24.6.20～H.25.3.19		58,944,000円	4,134,096円	63,078,096円
事業等の概要 平成22年8月玉津島神社を中心とする和歌の浦干潟約90万㎡が名勝和歌の浦に指定された。名勝和歌の浦の重要な構成要素である妹背山に渡る県内最古の石橋、三断橋が長年の経年劣化で復旧が必要になっていた。全長が約40mもある三断橋は、慶安4年(1651)頃までに建設され、石垣とそれをつなぐ三つの橋で構成される。平成24年度の整備では、部分解体であり、修復が必要な最小限の範囲を修理するとの方針で整備した。				

4 文化財建造物保存修理技術指導受託

契約件数 16件

決算額

33,906,000 円

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
1	国宝長保寺大門ほか2棟保存修理技術指導業務	海南省	宗教法人 長保寺	平成24年3月21日
	事業等の期間 (変更後の期間)	契約金額	変更額	決算額
	H24. 4. 1~H24. 12. 31	9,266,000 円	- 円	9,266,000 円
事業等の概要 大門、多宝塔、鎮守堂の3棟の屋根まわりを中心とした修理を平成23年3月より実施し、同24年9月に竣工した。本年度は大門で屋根瓦の葺き直しと、土壁の漆喰塗り替え、壁板の胡粉塗り替えを実施したほか、軒内土間の破損が進行していたため、素屋根解体後に土間叩き工事を追加施工した。多宝塔では屋根瓦の葺き直しと、相輪の組み付け、亀腹の漆喰塗り替え、縁板の部分補修などを実施した。鎮守堂は前年度中に予定の修理を完了しており、本年度は素屋根の解体を実施した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
2	重要文化財琴ノ浦温山荘主屋ほか2棟耐震診断技術指導業務	海南省	公益財団法人 琴ノ浦温山荘園	平成24年6月1日
	事業等の期間 (変更後の期間)	契約金額	変更額	決算額
	H24. 6. 2~H25. 3. 31	1,206,000 円	- 円	1,206,000 円
事業等の概要 主屋、浜座敷、茶室の3棟の重要文化財指定建造物において、構造解析と補強計画案の策定を行った。構造解析においては、海岸際の造成地という立地条件を踏まえ、十分な地盤調査の結果をもとに時刻歴応答解析を実施した。いずれの建物も近代和風建築に特徴的な大きな開口部を有する建物であるため、建物の特質や活用のあり方に則した補強計画を提案した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
3	重要文化財琴ノ浦温山荘主屋ほか2棟保存管理計画支援業務	海南省	公益財団法人 琴ノ浦温山荘園	平成24年4月1日
	事業等の期間 (変更後の期間)	契約金額	変更額	決算額
	H24. 4. 1~H25. 3. 31	394,000 円	- 円	394,000 円
事業等の概要 主屋、浜座敷、茶室の3棟の重要文化財指定建造物、伴待部屋、正門、中門、西冠木門、南冠木門、北冠木門の6棟の附指定建造物の保存管理計画のうち、第2章『保存管理計画』の策定を実施した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
4	重要文化財 金剛三昧院客殿及び台所 ほか1基保存修理技術指導業務	高野町	財団法人 高野山文化財保存会	平成24年4月10日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H24. 4. 10~H25. 3. 31		11,707,000 円	- 円	11,707,000 円
事業等の概要 平成19年度から6カ年をかけて実施してきた事業が完了した。客殿及び台所においては、内装材の仕上げや設備の復旧、周辺整備などを中心に施工した。多宝塔においては、旧檜皮屋根の解体に伴い内部天井などの造作材に破損や納まりの不具合が確認されたため、計画変更の許可を得て補修を実施し、屋根工事や金具補修など全ての工事を完了した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
5	重要文化財丹生都比売神社本殿 保存修理技術指導業務	かつらぎ町	宗教法人 丹生都比売神社	平成24年12月27日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H25. 1. 1~H25. 3. 31		1,670,000 円	- 円	1,670,000 円
事業等の概要 事業期間24ヶ月で行う工事が平成25年1月より始まった。当事業では室町期(2棟)、江戸期、明治期の本殿4棟について、檜皮屋根の葺き替えと塗装修理及び第二殿の軸部補正工事を行う。24、25年度で第一殿、第二殿を、26年度で第三殿、第四殿の工事を行う予定で、本年度は素屋根及び資材置き場の建設を行うと共に、第二殿の木工事の準備を行った。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
6	重要文化財熊野本宮大社神門ほか 4棟保存修理技術指導業務	田辺市	宗教法人 熊野本宮大社	平成24年7月31日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H24. 8. 1~H25. 3. 31		1,902,000 円	- 円	1,902,000 円
事業等の概要 平成23年度で重要文化財である社殿の屋根葺き替え・部分修理を終えた熊野本宮大社では、同24・25年度で史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業として、社殿まわりの瑞垣と鈴門、神門と築地塀、神饌所の保存修理を実施した。24年度は神門と築地塀、神饌所で屋根葺き替え・部分修理を行った。神門の檜皮屋根は全体に摩耗や腐朽が進み、一部軒付を残して全面を葺き直した。合わせて、壁板や扉まわり、鬼板など木部破損箇所も補修した。築地塀では銅板屋根の葺き替え、神饌所では銅板屋根の葺き替えと木部破損箇所の補修、漆喰壁の部分補修を行った。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
7	重要文化財熊野那智大社第一殿(滝宮)ほか7棟(その2)保存修理技術指導業務	那智勝浦町	宗教法人 熊野那智大社	平成24年4月10日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H24. 4. 10~H24. 12. 31		2,607,000 円	- 円	2,607,000 円
事業等の概要 台風12号の影響で平成23年9月4日に発生した土砂崩落により、重要文化財に指定されている建造物計8棟全てが被災したため、土砂の撤去が完了した平成24年2月より災害復旧事業に着手し、同12月で全ての工事を完了した。第五殿の建て起こし・補強工事、御県彦社周辺瑞垣の組立、檜皮屋根葺き直しを実施後、各社殿の内法長押以下と鈴門及び瑞垣全面の塗装塗替や飾金具の補修を実施し、従来の姿に復した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
8	重要文化財旧西村家住宅保存管理計画作成業務	新宮市	新宮市	平成25年1月10日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H25. 1. 11~H25. 3. 31		185,000 円	- 円	185,000 円
事業等の概要 平成24~25年度で実施される重要文化財旧西村家住宅保存管理計画策定に伴い、執筆を担当する『第2章 保存管理計画』における部位及び部分の設定のため、現地調査を実施した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
9	県指定文化財深専寺庫裡及び玄関保存修理技術指導業務	湯浅町	宗教法人 深専寺	平成24年7月23日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H24. 7. 24~H25. 3. 31		1,855,000 円	- 円	1,855,000 円
事業等の概要 平成23年秋の台風・地震被害により本瓦葺屋根が破損し、県費補助事業として屋根の修理が実施されたのに伴い、所有者による自費事業として、軸部や造作類の補修を行うとともに必要な補強工事を施工した。構造的には必ずしも有利ではない近世の書院系建物に共通する重厚な屋根と開放的な間取りが特徴的な建物でもあるため、専門家による構造解析を実施した上で補強方針を策定した。補修にあたっては、漏水などにより腐朽していた小屋組を改善するとともに、近年変更されていた柱間装置などを復旧した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
10	登録有形文化財火伏医院主屋、病院棟保存修理技術指導業務	橋本市	火伏医院 火伏總子	平成24年4月11日
	事業等の期間 (変更後の期間)	契約金額	変更額	決算額
	H24. 4. 11~H25. 3. 31	166,000 円	- 円	166,000 円
事業等の概要 平成23年9月より着手した事業の2ヵ年度めにあたり、病院棟の造作類の補修をすすめるとともに、医院としての設備類を整備した。また、先行して実施していた主屋部分を含め瓦屋根の葺き直し、外装の補修、左官工事、建具工事等を実施し、全ての工事が完了した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
11	登録有形文化財旧葛城館保存修理技術指導業務	橋本市	大矢 武	平成24年4月9日
	事業等の期間 (変更後の期間)	契約金額	変更額	決算額
	H24. 4. 9~H25. 3. 31	173,000 円	- 円	173,000 円
事業等の概要 旧葛城館は明治後期に建てられた木造3階建ての旅館建築であり、高野口駅前のシンボリック建物である。廃業後も継続的に補修の手が入っていたため、全体としては良好な状態を保っていたが、地盤沈下に伴う建物の歪が顕著となってきたため、不陸の修正と補強を中心とした工事を実施した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
12	高野山金剛峯寺伽藍中門再建工事技術指導業務	高野町	宗教法人 金剛峯寺	平成24年4月1日
	事業等の期間 (変更後の期間)	契約金額	変更額	決算額
	H24. 4. 1~H25. 3. 31	1,664,000 円	- 円	1,664,000 円
事業等の概要 高野山金剛峯寺伽藍中門は天保14年(1843)に焼失以降、伽藍を構成する主要建物では唯一再建が為されておらず、再建は教団の悲願であった。弘仁7年(816)に弘法大師空海により開かれた高野山が開創1200年の節目を迎えるにあたり、中門の再建が進められている。本年度は軸部の組立、塗装、檜皮の拵えなどが行われた。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
13	湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区保存修理技術指導等委託業務	湯浅町	湯浅町	平成24年5月15日
	事業等の期間 (変更後の期間)	契約金額	変更額	決算額
	H24. 5. 16~H25. 3. 25	231,000 円	- 円	231,000 円
事業等の概要 平成23年度実施物件(8件)、平成24年度事業物件(9件)、平成25年度要望物件(7件)の修理、修景に係る事業計画について、湯浅町担当者に技術指導を実施した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
14	重要文化財雨錫寺阿弥陀堂保存 修理技術指導業務	有田川町	宗教法人 雨錫寺	平成24年12月4日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H24. 12. 4~H25. 3. 31		324,000 円	- 円	324,000 円
事業等の概要 阿弥陀堂の茅葺屋根のうち、腐朽の進んだ北面の部分葺き替え及び補修、棟飾りの部材取替を実施した。文化庁による現地指導時に協議した結果、北面の腐朽防止策を実験的に施工することとなり、計画変更の許可を得て北面屋根面に銅網を設置したほか、維持的修理として南、東、西各面において屋根表面劣化部分の清掃及び叩き直し工事を実施した。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
15	熊野三山史跡等・登録記念物・歴史の道 保存整備事業に伴う技術指導業務	那智勝浦町	宗教法人 熊野那智大社	平成24年9月1日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H24. 9. 1~H25. 3. 31		417,000 円	- 円	417,000 円
事業等の概要 平成23年度の土砂崩落により被災した那智大社境内の東門、内庭北瑞垣・通用口、南東通用口の災害復旧工事を、史跡の構成物として国庫補助事業で実施した。東門は親柱の根継修理や控柱の取替、瑞垣は流失した土台や蹴込板の新調を行ったほか、各建物の建て起こしを行い、修理部分の塗装を塗り替えた。				

番号	事業等の名称	所在地	委託機関(者)名	契約締結年月日
16	世界遺産緊急保全対策事業(那智大社 東門修繕事業)に伴う技術指導業務	那智勝浦町	宗教法人 熊野那智大社	平成25年2月27日
事業等の期間 (変更後の期間)		契約金額	変更額	決算額
H25. 2. 27~H25. 3. 31		139,000 円	- 円	139,000 円
事業等の概要 那智大社境内の東門修理に伴い、世界遺産緊急保全対策事業として那智大社と青岸渡寺間の東門土間、石階段、参道の補修を行った。東門土間は東門軸部の不陸修正に伴い一旦解体のうえコンクリート基礎を水平に打ち直し、モルタル仕上げとした。石階段は西端の高さに揃え、水平に据え直した。参道は竣工後の石階段の高さに揃え、区切りのよいところまでモルタルで打ち直した。				

5 普及事業

件数 2件

決算額

4,232,047 円

事業の名称等	開催場所	開催期間	事業の概要	決算額
文化財センター2011 年報発刊	—	—	平成23年度受託事業並びに普及活動等の成果をまとめ年報として発刊	1,921,534
季刊誌「風車」発刊	—	—	埋蔵文化財と文化財建造物の情報誌を年4回発刊	
発掘調査現地説明会	—	—	発掘調査を実施した遺跡において現地説明会を開催	
公開シンポジウム 「道成寺の謎に迫る」	日高川町	平成24年 11月23日	科学的な仏像の年輪年代測定により道成寺の新たな歴史を発見	
地宝のひびき —和歌山県内文化財 調査報告会—	和歌山市	平成24年 6月24日	県内の埋蔵文化財調査担当者が過年度の調査内容について発表	2,310,513
歩いて知る紀の国歴史 探訪	九度山町	平成24年 10月20日	高野政所がおかれた慈尊院と慈尊院を起点とした高野山町石道を舞台とし埋蔵文化財から見た地域の歴史を再発見	
公開シンポジウム 「木の国の原像を探る— 出土木製品からみた和 歌山の歴史—」	和歌山市	平成25年 2月23日	古代には木の国と呼ばれた和歌山の歴史について、出土木製品にスポットをあて様々な側面から原像を探る	
埋蔵文化財の保存活用 整理「発掘調査報告書 の電子書籍化」	—	—	過去に刊行した発掘調査報告書の公開・活用促進を目的として電子書籍化を行う	
埋蔵文化財の保存活用 整理「写真フィルムの デジタル処理」	—	—	過去に実施した発掘調査の写真フィルムをデジタル処理し、データとして記録を保存する	
埋蔵文化財の保存活用 整理「木製品の保存活 用」	—	—	更なる活用を見込むため保管している木製品について真空パックを施す	